

11 時限目 世界で活躍する日本人

(1) 本時の目標

これまでの学習において、同じ人間としての人権感覚に訴えて「共感による連帯」を意識できるように、グループ学習やVTRの視聴を行ってきた。学習後、生徒たちには国際協力は必要であるという意識が芽生えてきているが、自分自身が実際に活動することは難しいと考える生徒がほとんどである。本時は実際に国際協力をこれから行おうとして訓練している人々、現在行っている人々、過去に行かれた人々の言葉を聞き、国際協力の在り方について自己の考え方の変容をねらうものとする。

(2) 学習の展開

1. 国際協力はなぜ必要なのかを、世界史の学習で行ったことを通して確認する。
(植民地時代の負の遺産、社会的不公正)
2. 後期中間試験において出題した「あなた自身が国際協力をしていく場合、何がむずかしいと思いますか。」の生徒の解答である「お金」「ことば」という問題から国際ボランティアを支援する組織としてJICA(国際協力機構)のJOCV(青年海外協力隊)について学習する。また、特にガーナ共和国との関連では、世界で活躍した日本人として、「野口英世」を導入に用いる。

3. 授業者が今年10月に福島県で行った「JICAボランティア1日体験」での内容。現在青年海外協力隊派遣前訓練中の人々がこたえてくれた、「なぜ、青年海外協力隊へ応募したか」の内容から考える。
4. 授業者が今年8月にJICA教師海外研修(ガーナ共和国)で青年海外協力隊の人にインタビューした内容から考える。
5. 青年海外協力隊経験者2名に来て頂き、青年海外協力隊での活動がその後の人生にどう影響しているかを生の声で生徒に伝えてもらい考える。
6. 「国際協力は難しい」という生徒の思いが、授業前→授業後で変容したかどうか、振り返りのワークシートで確認するとともに、何が勉強になったかを明記させる。

生徒の感想より

とてもいい話をきいて、
僕も青年海外協力隊になれたらいいと思いました。

〈所感〉～授業見学者より～

授業スタイルは対話型で、生徒への発問から授業を構成していくので、発言する生徒が片寄らないよう、全員がひと言でも発言できるようにすること。

❖ 成果と課題

これまで「国際協力」の単元については、教科書の内容を追う程度の授業であった。第一の成果としては、生徒同士が考えを深めるグループ学習(LHR活用)を実践したことであり、第二に国際協力の現場を身近に感じてもらうために写真・VTR・ワークシート等の資料の教育的加工を試み、授業実践したことである。これらのことは、今回のガーナ教師海外研修や国際理解教育研修会への参加がきっかけとなって実現できたことである。生徒は、数回にわたる国際協力の授業やVTRによって、世界の現状や青年海外協力隊の活動を知り、人の生き様を身近に感じることで、国際協力の必要性を実感しはじめた。

課題としては、国際協力の在り方について、自己の考え方がいかに変わったかをはかるものさしを工夫することである。ポートフォリオの要素をふまえて、毎回の授業の足跡を残す記録的なワークシートは作成しているが、この研究授業によって生徒がどのように変容したかがわかるものは作成できていない。今後の検討課題としたい。

📖 参考資料

- ・文部省告示「高等学校学習指導要領解説」総則編
平成11年12月(平成16年6月一部補訂 平成17年8月一部補訂)
- ・文部省「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編」
平成11年12月(平成17年1月一部補訂)
- ・高根務「ガーナ 混乱と希望の国」アジア経済研究所 2003年
- ・早瀬昇・牧口明「ボランティア・NPOと人権」解放出版社 2004年
- ・国際協力機構中部国際センター「教室から地球へ 開発教育・国際理解教育」2006年
- ・ジャン・ジグレル「世界の半分が飢えるのはなぜ？」
合同出版2003年
- ・文 ジュリアス・レスター、絵 ロッド・ブラウン、訳片岡しのぶ
「あなたがもし奴隷だったら」あすなろ書房 1999年
- ・渡辺淳一「遠き落日」角川文庫 昭和57年
- ・デイヴィッド・ランサム 市橋秀夫訳「フェア・トレードとは何か」青土社 2004年
- ・ジャン・メイエル「奴隷と奴隷商人」創元社 1992年
- ・ジャン＝ピエール・ボリス 林昌弘訳「コーヒー、カカオ、コメ、棉花、コショウの暗黒物語 生産者を死に追いやるグローバル経済」作品社 2005年

田中 紀子
報告書①

古藤 匠子
報告書②

村木 啓司
報告書③

黒森 美由姫
報告書④

黒明 堅一郎
報告書⑤

山崎 知代子
報告書⑥

祝迫 直子
報告書⑦

河毛 樹
報告書⑧

森 泰三
報告書⑨

安部 一夫
報告書⑩

参考資料

- ・石弘之「子どもたちのアフリカ〈忘れられた大陸〉に希望の架け橋を」岩波書店2005年
- ・文ニッキ・ジョバンニ、絵ブライアン・コリアー、訳さくまゆみこ「ローザ」光村教育図書 2007年
- ・浅井和子著「民間大使ガーナへ行く」文芸社 2006年
- ・文マヤ・アンジェロウ、写真マーガレット・コートニー＝ラク、訳さくまゆみこ「ほくはまほうつかい」アトーン 2006年

主要URL

- ・青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/05junior/plan/jical7/jica-index.html
- ・ピープル・ツリー（フェア＝トレードとは）
http://www.peopletree.co.jp/fairtrade.html
- ・地球市民共育塾広島
http://www.geocities.jp/kyoikujuku_hiroshima/index.html
- ・生活の木（販売）
http://www.rakuten.co.jp/inscent/680253/680277/
- ・ガーナ石鹸工房の夢
http://www.treeoflife.co.jp/uda-san2/index.html

世界史A (2007. 10. 5 1組)

1年 ()組 ()番 名前 ()

世界史の授業：最後に、日本の戦後（OICU＝政府開発援助）を使って、国際協力をする事について、どう思いますかと言いました。もちろん、OICUの2006年の実績は、対GDP比で47.3%増で1兆6,475億円、対GDP比より23.1%はアフリカ史を学習しますが、今日はその前に国際協力の歴史を勉強してみよう。

<今日は、読み進めてグループ学習します>

① 国際協力の歴史から…

授業に買ったことを1つ書いてください

② あなたなら、どんな国際協力ができると思えますか。

③ 日本は経済的・技術的援助を受けたことがあるのでしょうか。<書き進めて、書道>

<第二次世界大戦が終わった後、忘れ去られてしまった日本が戦争にもなることができたのは、海外の国から多くの援助を受けたから。たとえばユニセフ（国連児童基金）は当時の全額で約9億ドルを使い、日本の子どもたちのために学校給食や医薬品を送ってくれた。また、戦後復興特使、著名作家渡辺、渡辺節子夫人などは民間からの職員、再建をパンフ「OICU（政府開発援助）世界と地球の未来のために」よび<

④ 国際協力は、誰のため、何のために行うのでしょうか。④の問いに対して書いてみましょう

・相手のため ・日本のため ・自分のため ・両者のため

<「教科から理解へ」より>

相手にとって

- ・生活が改善する ・教育環境がよくなる ・経済が発達する

日本にとって

- ・日本の資源の利益ともなる ・国際的地位向上につながる ・世界が平和になる

自分にとって

- ・人とのつながりが強くなる ・達成感が得られる ・自分の知識・技術が役立つ

未来にとって

- ・環境保護につながる ・戦争がなくなる

世界史A (2007. 10. 22 4組)

1年 ()組 ()番 名前 ()

今日の授業について言えます。

1. 渡辺のグループ学習は、積極的に討論に参加しましたか。 <はい / いいえ / >

2. グループ内であなたは今、どのような役割を果たしましたか。○をしてみてください。

司会 実演者 観察ラードを聞いた 意見を出した 意見をまとめた

3. フェアトレードについて、あなたが発見したことを書いてください。

④ 日本は国際協力や支援をしていくべきだと思いますか。 <思う / 思わない / > その理由を書いてください。

⑤ 個人的にできる国際協力や支援は何だとお思いますか。

⑥ あなた自身が今日の授業で勉強になったことは何ですか。

世界史A (2007. 10. 5)

1年 ()組 ()番 名前 ()

④ 国際協力はなぜ必要なのか。

世界には、「毎日きちんと食事ができたり」「安全に暮らすために住みやすい」「仕事が見つかる」「適切な医療を受けたり」といった、生活の基本的な要素や権利が不足して生きていける人もまだたくさんいます。

⑤ なぜ貧しい人がいるのでしょうか。〈世界史Aの授業の中で…〉

・ ① 歴史的な原因（アフリカ・アジアの 地理）と ② 経済的
・ ③ 歴史的な原因（中絶）が原因で起こっている

⑥ ④の理由を ⑦の理由として、国際協力や支援が必要であるのかを、お答えください。

⑧ ④の理由（OICU＝政府開発援助）を使ったり、国際協力や支援をする理由がある。その理由には、⑨と⑩（国際協力の歴史）の

J-O-C-U (Japan Overseas Cooperation Volunteers)

⑨ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑩ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑪ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑫ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑬ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑭ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑮ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑯ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑰ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑱ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑲ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

⑳ ④、⑤の理由から、あなたは何を学びましたか。

世界史A (2007.12.7)

1年()組()番 名前()

☆ 国際協力はなぜ必要なのか。

↓

☆ なぜ苦しむ人がいるのだろう。(世界史Aの授業の中では…)

いわゆる

↓

への一つの挑戦として、国際協力や援助活動があるのかもしれない。

☆ 私たち自身が国際協力をするためには、() など、いろんな壁がある。だからこそ、国の税金 (ODA = 政府開発援助) を使用して、国際ボランティアを支援・育成する組織がある。それは一つには、JICA (国際協力機構) の

☆ 今、派遣前訓練している人の言葉から、あなたは何を思いましたか。

☆ 今、実際に活動している人の言葉から、あなたは何を思いましたか。

☆ 昔、青年海外協力隊で活動した人は、その後の人生にどのような影響があったのだろう。

☆ 本日の授業を受けて

・何が一番、勉強になりましたか。

・国際協力について、将来的にあなた自身が何かできることはあると思いますか。

はい : 具体的に考えられることは…

いいえ : なぜできないと思いましたか…

授業前と授業後で、国際協力について、あなた自身の思いは変わりましたか。

(はい ・ どちらともいえない ・ いいえ)